

■ 検討の手順

資料1と資料2の内容をふまえ、宮代町の容器包装プラスチックの処理方法について、検討します。以下の2つの設問について考えを整理し、検討シート（別紙）に記入してください。作成した検討シートは、第3回会議当日にご持参ください。

設問-1 ごみの減量化と脱炭素（カーボンニュートラル）のアイデア

▼容器包装プラスチックの処理の検討の前に、まず、「ごみを減らす」「ごみを出さない」「脱炭素」の取り組みについて考えます。資料1、資料2にあるとおり、世界各国で、ごみの減量化や、温室効果ガス排出量の削減など、脱炭素（カーボンニュートラル）に向けた動きが急速に広がっています。これを踏まえ、以下の設問についてご検討ください。

<設問-1>

ごみ減量化や脱炭素社会を実現するために、宮代町では、「誰が」「何をすること」が必要になると思いますか。またそれは、どのような「効果」があると思いますか。あなたのお考えを、検討シートにご記入ください。

①「ごみ減量化」 ②「脱炭素化」のそれぞれについて、ご検討ください。

※同封の参考資料「私たちにもできるCO₂削減」も参考にしてください

設問-2 容器包装プラスチックの処理 A案とB案の比較・検討

▼容器包装プラスチックの処理について、A案とB案を比較します。

- A案 リサイクル協会によるリサイクル →現状維持
- B案 新ごみ処理施設で熱利用（サーマルリサイクル） →処理方法の変更

<設問-2>

容器包装プラスチックの処理方法について、A案（現状維持）、B案（変更）、それぞれの選択をした場合、どのような影響（良い面、心配な面）が考えられるでしょうか。また、その方法を選択した場合、住民や町は、何をすることが必要になるでしょうか。

① 経費 ② 環境負荷 ③ リサイクル率 ④ 住民負担
(分別ルールや意識啓発など)

の4つの視点から、ご検討ください。